

授業科目名 <英訳>	ベンチトレーニングコース On the Bench Training Course				担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 准教授 原田 浩二 医学研究科 教授 小泉 昭夫					
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 後期	曜時限	金3,4	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語

[授業の概要・目的]

I. コースの概要

行政機関・化学工業における中毒学専門職として必要なGLPの実践を行ないます。Gas Chromatography / Mass Spectrometry を使用した環境汚染物質研究のprotocol writing, presentation, protocol meeting, sample collecting, sample measurement, audit, paper writing, review を実習します。

[到達目標]

II. 学習到達目標（このコース終了時まで習得が期待できること）

- ・ Gas Chromatography / Mass Spectrometry を使用することができる
- ・ 文献等を調べて研究テーマの背景を説明できる
- ・ GLPに基づいてプロトコールを書くことができる
- ・ 明らかにすべき事柄に対する研究手段を選択することができる
- ・ GLPに基づいてプロトコールをpresentationすることができる
- ・ GLPに基づいて実験結果をまとめることができる
- ・ GLPに基づいて研究結果をpresentationすることができる
- ・ 研究成果を論文にまとめることができる

[授業計画と内容]

- 第1回 10月6日 Orientation
- 第2回 10月13日 Gas Chromatography 24-1, 24-2, 24-3
- 第3回 10月20日 Gas Chromatography 24-4, 24-5
- 第4回 10月27日 Mass Spectrometry 22-1, 22-2
- 第5回 11月10日 Mass Spectrometry 22-3, 22-4
- 第6回 11月17日 Discussion of theme
- 第7回 12月1日 Presentation of background
- 第8回 12月8日 Protocol Writing
- 第9回 12月15日 Protocol Presentation
- 第10回 12月22日 Sample collecting
- 第11回 1月5日 Sample measurement (1)
- 第12回 1月12日 Sample measurement (2)
- 第13回 1月19日 Summarize the data
- 第14回 1月26日 Presentation the data
- 第15回 2月2日 Writing Paper

ベンチトレーニングコース(2)

【履修要件】

MPH選択

産業・環境衛生学、中毒学入門が履修済みで、中毒学を受講していること

【成績評価の方法・観点及び達成度】

Attendance and active participation 50%, Presentation50%

【教科書】

Handouts

1.Code of Federal Regulations ICH Guideline

2.Quantitative Chemical Analysis 6th edition Daniel C. Harris, W. H. Freeman and Company, 2003

【参考書等】

(参考書)

【授業外学習（予習・復習）等】

III. 教育・学習方法

- ・講義
- ・小グループ学習

（その他（オフィスアワー等））

その他メッセージ

Credits of “ Introduction to Toxicology ” and “ Occupational health and environmental health sciences ” simultaneous registration of “ Toxicology ” are required.

人間健康科学系専攻学生の受講可否： 上限3人まで可能

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。